

災害時の広報・報道／分かりやすい情報提供に係る意見の整理 【資料7】

- 分かりやすい情報提供という観点から必要と考えられる事項について、報道関係者へ意見聴取を実施。
- 挙げられた意見と今年度の成果との関連性を整理すると以下の通り。
- 意見については引き続きヒアリングを行う予定。

【一般的に留意すべき事項】→基本ルール等の取組の中で検討

- ・行政の持っている情報のリストがあらかじめ整理されていると、情報入手が効率的になり、より分かりやすく国民等に伝達できる
- ・細かすぎる情報は個人情報保護や防犯の観点から伝達することに適さないことがある点に留意すべき
- ・集めた情報に鮮度の古い情報が混じっていると全てが使えない可能性
- ・情報はPDFなどではなく、より機械判読しやすいファイル形式で掲載されていると迅速で分かりやすい提供に繋がる
- ・専門的すぎる情報はそのまま伝達できず、解説が必要(確認せざるを得ず、かえって双方の手間が生じる懸念)

【内容】→各作業部会で検討

- ・避難所の開設状況や電気、水道、ガス、鉄道等の基本的な情報は必要
- ・訪日観光客に向けた多言語による情報提供も分かりやすさという観点からは必要

【提供の仕方】→各情報を集約する取組の試行(「見える化」の取組)において検討

- ・最新情報だけではなく、時系列の変化や変更履歴がわかると、最新情報の意味が伝わりやすい
- ・リアルタイムでの提供が最も状況が伝わりやすく、ライブカメラなどは幅広く公開されてもよいのではないか
- ・映像、音声、紙面で伝えるメディアは伝達のために文書による情報共有が必要だが、どのメディアも地図情報の提供も必要

【その他】→別途個別に検討

- ・住民には地元スーパー等の開設状況等の生活情報が最も必要。これらの情報が再開の見込みも含めて提供されることが重要
- ・対応している担当者の生の声は納得感が強く、首長等の記者会見以外にも、そういったものを配信する取組が考えられないか
- ・発信媒体によって行政機関が「報道機関」とみなさない場合があり、「報道機関」の範囲を広く捉えてもいいのではないか

災害時の広報・報道／わかりやすい情報提供

質問項目

- これまでの災害時に行政機関が発出している情報について、内容やタイミング、発信媒体で改善すべきものがあるか。具体例があれば当該事例も含めて。
- これまでの災害時において、報道に関して必要であったが入手できなかった情報（行政が今後は発出することが望まれる情報）にはどのようなものがあったか。
- 逆に、これまでの災害時における行政機関の情報発信で望ましい事例はどのようなものがあったか。
- 災害時に行う報道に関してあらかじめどのようなことを報道すべきといった整理があるか。